

2021年1月12日

SMN 株式会社

2020年～2021年の年末年始 テレビCM放送回数ランキング

～お家時間の楽しさを反映、新たな一年の日常の幸せの発見～

SMN 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：石井 隆一、以下 SMN）のグループ会社である株式会社ゼータ・ブリッジ（本社：東京都品川区、代表取締役：安藤 尚隆）は、2020年12月27日～2021年1月3日の全国地上波25局、BS放送6局にて放送されたテレビCMの放送回数を調査しましたので、お知らせいたします。

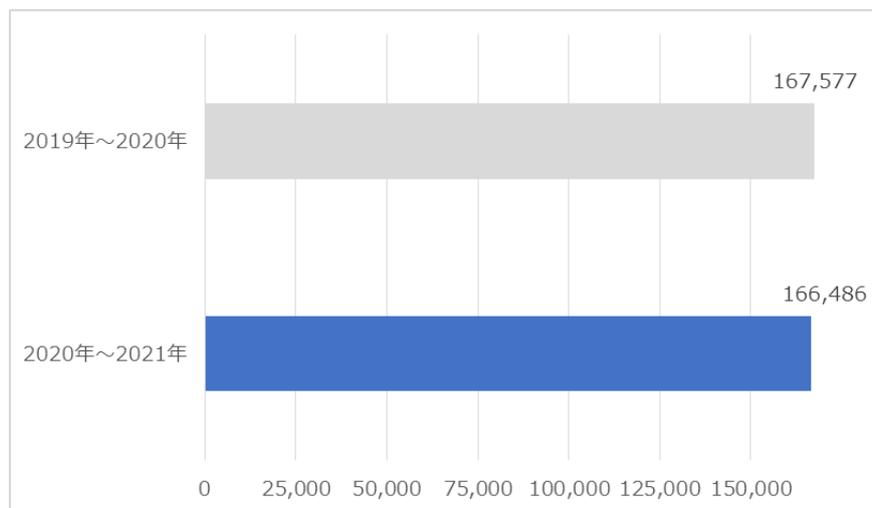
■ 調査トピックス

- ・テレビCM放送回数は昨対比99.3%と微減。
- ・放送回数増加カテゴリ1位は、「パソコン」で前年比360%。
- ・増加カテゴリで特筆すべきは2位の「お茶」、前年比301%。
- ・年末年始の風物詩である神社仏閣のテレビCM放送回数は、前年比53%と大きく減少。

■ 2020年～2021年年末年始動向まとめ

2020年～2021年年末年始のテレビCMの総放送回数は166,486回となり、前年比（167,577回）99.3%となりました。（グラフ1参照）

【グラフ1】テレビCM放送回数



■ お家時間の身近な飲み物「お茶」により、身近な幸せの発見や健康ケアを促す

放送回数が増加したカテゴリは、1位「パソコン」（前年比360%）、2位「お茶」（前年比301%）、3位「AV機器」（196%）、4位「教育」（前年比170%）、5位「その他」（前年比152%）となりました。（グラフ2参照）

増加ランキングの傾向としては、新たな生活様式へとシフトした人々の生活を快適にするカテゴリの台頭です。

1位「パソコン」は、新型ノートパソコンやワイヤレスイヤホンに加え、前年には見られなかったお家時間を楽しむ製品であるVRヘッドセット（Facebook「Oculus Quest」）やゲーミングPC（サードウェーブ「ガレリア」）のクリエイティブが新たに登場しました。このようなお家時間を快適にするクリエイティブは、3位「AV機器」のお掃除ロボット（ヤマダホールディングス「Roborock」）や新型テレビ（FUNAI「Android TV」、アイリスオーヤマ「音声操作 4K 対応液晶テレビ新型テレビ」）、4位「教育」のユーキャンやDMM英会話などのオンライン学習、5位「その他」の出前館やウーバーイーツのフードデリバリーサービスから見られました。

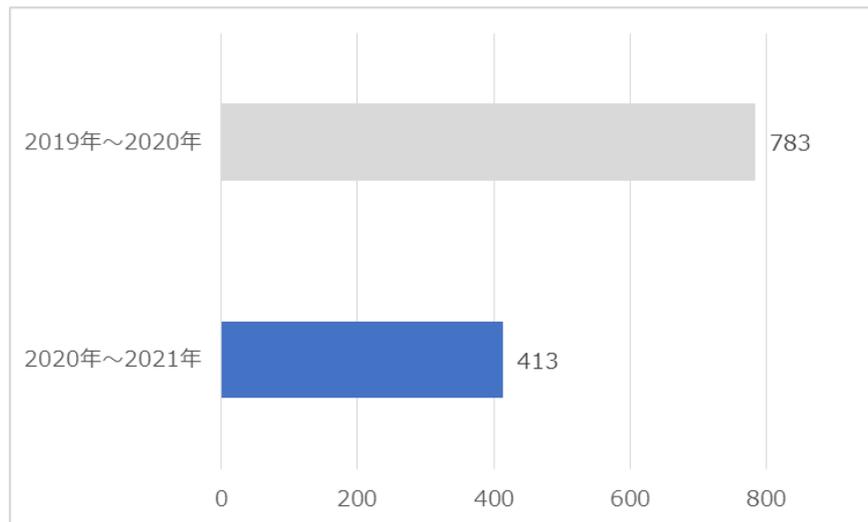
増加カテゴリランキングで特筆すべきは、2位「お茶」（前年比 301%）です。各社が表現している内容は、人々の日常にちょっとした幸せや健康を提案するものになっています。年末年始も新型コロナウイルスの影響を受け、外出制限など今までとは異なる過ごし方をされた方々も多いと思います。そのような方々に向け、食べる幸せ（日本コカ・コーラ「綾鷹」）や掃除は運動の一貫（サントリー食品インターナショナル「伊右衛門 特茶」）という新たな見方の提案、そしてマスクを着けていることによる肌へのケア（日本コカ・コーラ「からだ巡茶 モイステリア」）など、お茶を通して人々に明るい話題を提供したのではないのでしょうか。

【グラフ 2】放送回数増加ランキング

	カテゴリ	前年比
1	パソコン	360%
2	お茶	301%
3	AV機器	196%
4	教育	170%
5	その他	152%
6	ヘアケア	146%
7	お酒・ビール	145%
8	一般家電	132%
9	その他通信	131%
10	日用品	131%

■ 年末年始の風物詩である神社仏閣のテレビ CM 放送回数は、前年比 53%と大きく減少

これまでの年末年始には、年越しや初詣に行く人々に向けて、太宰府天満宮や川崎大師などの神社仏閣のテレビ CM が多く見られましたが、今回の年末年始は外出制限により、放送回数が前年比 53%と大きく減少しました。（グラフ 3 参照）また、放送されたテレビ CM には、分散参拝の協力をお願いする文言が入り、世相を反映した内容になっています。

【グラフ 3】神社仏閣ランキング


■ 調査概要

【調査期間】2020年12月27日～2021年1月3日

【対象】全国地上波25局、BS放送6局

【調査方法】動画認識エンジンを活用したテレビCM自動認識システムにて取得した放送履歴情報を基に調査

■ お問い合わせ

本ランキングに関するお問い合わせは、下記サイト内の問い合わせフォームより受け付けております。

・サイト：<https://www.zeta-bridge.com/>

■ 株式会社ゼータ・ブリッジ < <https://www.zeta-bridge.com/> >

2001年10月に設立。要素技術の積み上げではなく、「目、耳など五感から得た情報を人間の脳がいかにか処理し、そして感じているか？」を原点とした様々なアルゴリズムを独自に開発しています。人間の感性を超える認識テクノロジーでお客様の課題を解決いたします。テレビCMメタデータ販売、音声・画像認識エンジンを利用したサービスを提供しています。

■ SMN 株式会社 < <https://www.so-netmedia.jp/> >

2000年3月に設立。ソニーグループで培った技術力をベースに、マーケティングテクノロジー事業を展開しています。「技術力による、顧客のマーケティング課題の解決」を実現するため、ビッグデータ処理と人工知能のテクノロジーを連携し進化を続けています。現在、DSP「Logicad」、マーケティングAIプラットフォーム「VALIS-Cockpit」、実店舗事業者向けマーケティングプラットフォーム「Marketing Touch」のほか、テレビ視聴データ広告配信サービス「TVBridge」を新たに提供するなど、マーケティングに関する様々な課題解決を実現しています。

※記載されている会社名、団体名、商品名、サービス名は各社、各団体の商標または登録商標です。

<本件に関する問い合わせ先>

SMN 株式会社

コーポレートカルチャー&リレーション推進課 広報担当：堀越

TEL: 080-7893-2951 / E-Mail: pr@so-netmedia.jp